

各部会の報告（事務局会議実施日：令和7年8月7日時点）

※前回の開催については、報告済みの会議は除きます。

相談支援部会		
前回の開催内容報告	令和7年7月2日（水）13：30～15：00	参加人数 58名
<p>今月は、基幹センター研修会との合同開催で、内容としては、講義・事例検討「ケアマネジャーの役割と事例検討～野中猛先生の事例検討から学んで」と題して、札幌学院大学特別任用教授大久保 薫氏を講師に招き、講演頂いた。</p> <p>講義の内容は、ケアマネジメントの推進と事例検討で、「ケースマネジメントの定義、必要性、価値」について、本人が幸せに生きていくために、ケアマネジメントの本質について理解ができた。</p> <p>他職種連携から住民参加の事例検討へ繋がった話題では、困った時はみんなで考えようと連携の必要性について学ぶことができた。</p> <p>また、事例検討会の必要性やケア会議のメリットとして、共通認識し、判断の共有過程から、価値観を共有することの確認ができた。</p> <p>後半は、実際に事例検討を、参加者で役割（事例提供、板書）を担い、実施した。</p> <p>事例内容としては、知的障害の方で、家族中心支援になっている現状で、本人中心の支援をしていくためには、どうしたら本人の思いに寄り添えるか等の具体的な検討を行った。</p> <p>グループワークの後、1問1答で、本人を理解するポイントとして家族背景、課題等を掘り下げ、今後の手立て等、参加者みんなで検討を行った。</p> <p>大久保氏から、事例の進行者は質問を重ねて、深めていくこと、質問の角度等が大事であること、また板書は、進行の補助として、書く位置や色を変える等のポイントやアドバイスがあり、今後の実践に役立てていけるよう共有できた。</p>		
次回開催予定		
令和7年8月6日（水）13：30～15：00		

精神保健部会		
前回の開催内容報告	令和7年7月16日（水）13：30～15：00	参加人数 24名
<p>今月の内容は、情報交換として、「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」（にも包括）に向けて、地域の人々の課題に思うこと、困り事等について参加者で話合った。</p> <p>はじめに、帯広市のほうから、「にも包括」についての概要説明のあと、この体制作りのために、地域で必要なものや、課題に思うこと等について意見を出し合った。</p> <p>地域の中で支える支援者から、医療関係者より、どこにも繋がらない世帯との関わりの中で、何度も足を運び、関係構築していく難しさについてあげられた。</p> <p>また、地域の居場所での支援では、地活から、セルフプランの方の相談先がないことへの困り感が有ることや、本人を支える家族の困り感、家族のケアが必要だとの意見もあげられた。</p> <p>相談支援からは、世帯全体に障害がある家族のケースで、他機関が連携する必要性があり、話し合う場、会議の場の提供が大事だとの報告があった。</p> <p>こころの健康を支援している関係者からは、生きるを支える支援について、メンタルヘルスの必要性について話題があった。</p> <p>各関係機関の共通していることとしては、精神障がいの方も、SOSを出しやすい地域づくりから、本来あるものを有効活用することで、安心して生活できることを目指せるよう、参加者みんなで共有した。</p>		
次回開催予定		
令和7年8月20日（水）13：30～15：00		

医療的ケア児等支援検討部会		
前回の開催内容報告	令和7年7月15日(火) 14:30~16:00	参加人数 10名
<p>サポートブック・事例検討・移行期医療プロジェクトを開催。サポートブックについては対象者、配布方法、関係機関への配布先、見直しの時期について確認。事例検討については今年度「事例検討の観点から災害対策を考える」をテーマに、停電時の個別避難計画の作成を目指すこととした。移行期医療については現状の共有を行った後、現状を踏まえて必要だと思うこと、医ケア部会として出来ることについて検討し、当事者の声(困りごと)や動きを集めることから活動することとした。</p>		
次回開催予定		
医療的ケア児等支援検討部会 令和7年10月7日(火) 14:30~ 保健福祉センター 3階 視聴覚室		

就労支援部会		
前回の開催内容報告	令和7年7月14日(月) 13:30~15:30	参加人数 39名
<p>事例検討による研修会を行った。</p> <p>事例検討のテーマは、「利用者への個別支援の取組み方について」、事例提供者はでじりみの長谷川氏、かがやきの小川氏の2名となった。“問題解決をしない”という前提のもと、それぞれの事例に分かれてグループワークを行った。</p> <p>事例提供者は、改めて対象者のことを客観視できたといった感想があった。また、参加者からは周囲の意見を聞いて参考になった、勉強になったなどの感想があった。</p>		
次回開催予定		
令和7年9月(日付未定) 13:30~15:30 だいちによる研修会		

地域活動支援センター部会		
前回の開催内容報告	令和7年7月31日(木) 13:30~15:30	参加人数 11名
<p>各センターの近況報告などの情報交換を行った。</p> <p>その後、地域活動支援センターにおける地域課題について、昨年に引き続き、利用者の重度化や自然減の状況、他サービス利用による利用者減の状況を確認した。利用者が居心地がよい居場所となるように、また利用者増につながるように、各地活でレクリエーション(バス・見学・食事)の実施やサロン、学習会、講習会を開催している事を共有した。</p> <p>また、重層的支援体制整備事業の概要や地域活動支援センターの他都市の補助金の状況についてについて、市から情報提供した。</p> <p>日中活動部会創設については、地活において日中活動系のサービスを併用している利用者があるため、事業所が増えている現状では横の繋がりを作るメリットは感じるが、取り組む地域課題は見いだせない。また、部会の目的がはっきりしないと組織が膨張し、形骸化していく可能性があるなどの意見があった。</p> <p>これらの事から、今後は地活部会から日中活動部会への拡張はしない方向で、現在の地活部会を継続する事を確認した。</p>		
次回開催予定		
令和8年度		